

奨励賞



設計者

小島光晴

群馬建築士会、小島光晴建築設計事務所

戸建住宅(専用)

栃木県宇都宮市

うちのうち

構造・階数
木造
地上2階

敷地面積
189.56㎡

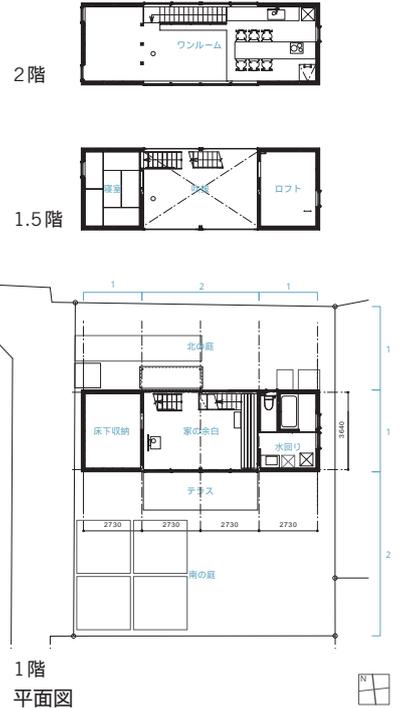
建築面積
42.65㎡

延床面積
79.48㎡

竣工
平成28年4月22日



A



- A 南面外観
- B ワンルーム
- C 家の余白から南の庭を見る
- D 家の余白。正面に見えるボックスに水回りを収納

写真...中村 絵

選評

夫婦と子ども3人が住むための木造2階建て(実際には、1階階高を通常の1.5倍に高くとって「1.5階」と称する和室とロフトの2室を設けたため、3階建てともいえる)専用住宅である。大通りから一側入って小住宅が密集する中に敷地があり、「そこだけポツカリと空が抜けているように明るかった」と感じた設計者は、その明るさを最大限生かして、周辺地域のためにそれを残し、これから建設される住宅にも「豊かさ」を創り出そうとした。それは、建物の短手方向の厚みを3.64mと薄くした平面と、北側の隣地境界から建物を離れたその配置に表現されている。

長手方向の立面の長さの半分を占める南北同サイズの全面

ガラスは、それにより視線が住宅を貫通し、この家が地域に開かれることを保障している。家族のメインの生活空間である2階は、高さによる明るさや風が吹き抜けることによって、気持ちのよい空間となった。

庇のない箱型の小住宅は激しい風雨や日照にどう対応するのか、少々気になったが、日照に対しては、南面にはネットを張り、野菜を這わせるなどの工夫が見られた。地域との関係を大切に計算し、地域に開くとともに、住宅内部の居心地のよさも確保している点を高く評価したい。

(松川淳子)

